

休日当番病・医院

8月24日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 こうよう泌尿器科クリニック 光洋町 82-8620
- ◆歯科 大町歯科加藤医院 大町 32-2209

療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後には休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。

法律相談

親身な相談で定評

8月25日(月)
渡辺達生弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苫小牧地区委員会
苫小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苫小牧地区委員会

苫小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苫小牧市議団ホームページ <http://jcp-tomakomai-shigidan.com/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

◆日本共産党は創立103年、国民の切実な要求実現のためにあらゆる可能性を追求します。

思想や言論を弾圧した希代の悪法「治安維持法」が施行されて100年。同法による弾圧に屈せずたたかいた伊藤千代子の「最後の手紙」が苫小牧市立中央図書館で公開されて20年を記念して10日、市民会館で、「新しい戦前を許すな！集会」(同実行委員会主催)が開かれ、150人余が参加しました。

実行委員長の高崎裕子弁護士(元参院議員)が開会あいさつ。参院選で女性議員が前進する一方で進む排外主義の台頭を危惧し、「歴史が繰り返されぬよう、今こそ原点に

戻り頑張らましよう」と呼びかけました。

治安維持法研究者で、小樽商科大学の荻野富士夫名誉教授が講演し、同法が拡大解釈されたことによる弾圧の歴史を解説しました。

1925年5月に施行された治安維持法は、初期は検挙対象者として、無政府主義者と共産主義者を想定。2度の改正と捜査機関の拡大解釈もあって、最高刑は懲役刑から死刑になり、矛先は宗教団体、反戦的言動をとる市民に押し広げられました。

荻野氏の調査によると、国内だけで約7万人の逮捕者がでて、400人以上が拷問や留置中の発病で命を落としたりと言います。

参院選で躍進した参政党は治安維持法を肯定し擁護論を展開し、歴代自民政府は、「悪法も法なり」の立場から同法を肯定する姿勢を崩していないと強調。特定秘密保護法、共謀罪法などの治安立法や近年の安全保障をめぐる動向には、同法が45年10月に廃止になったにもかかわらず、治安維持法体制の連続性

がある指摘し、「新しい戦前から進んで、『新しい戦中』前夜と呼ぶべき事態が進んでいる」と警鐘を鳴らしました。

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯の原作者である藤田廣登氏も講演し、「最後の手紙」から読み解く社会運動家の伊藤千代子さんの心情や同法の実態を語りました。

80年前に原子爆弾が広島に投下された6日、北海道被爆者連絡センターは、札幌市で「被爆80年 原爆死没者北海道追悼会」と、「つどい」を開きました。日本共産党の畠山和也元衆院議員と宮内史織道平和運動部長、池田由美札幌市議が参加しました。

自身も被爆者である連絡センターの宮本須美子代表が「戦争の悲惨さや原爆の怖さ、被爆の実相をこれまで以上に伝えていかなければいけない。核兵器は人類と共存できません。原爆で命を奪われた人びとに思い寄せる日にしましょう」とあいさつしました。

鈴木直道知事のメッセージ

「つどい」で宮本さんは「引越した長崎に原爆が投下され、疎開の際に爆心地を通つた。疎開の際に爆心地を通つた。疎開の際に爆心地を通つた。」と訴え続けました。

一方、核兵器を威嚇に使う危険な動きが国内外にあると、「引き続き草の根から核廃絶、反戦平和を求めていこう」と訴えました。

日本共産党の畠山、宮内両氏も参加。宮内氏は、連帯のスピーチを寄せ、「日本政府に核兵器禁止条約批准を求める署名」を呼びかけ、畠山氏は「唯一の戦争被爆国・日本の進むべき道は、核兵器廃絶のイニシアチブを発揮することです」と強調し、核廃絶を前に進めようと訴えました。



「治安法体制は連続している」と警鐘鳴らす荻野氏

「新しい戦前を許すな! 8.10集会」

核兵器は人類と共存できない

広島デーに追悼と宣伝 畠山氏ら参加

参加した日本共産党の森本健太苫小牧市議は、「戦争準備することが当たり前のような社会的な空気を感ずります。8月15日が終戦の日と知る若者は6割に過ぎないと調査もあります。南京大虐殺はでつち上げだとか、治安維持法は必要だと声高に主張する人が現れており、歴史の改ざんを許すことは出来ません。学び直しが必要で、今回の講演は大変勉強になりました」と語りました。

◆草の根から平和を求めろ

さつぽろ平和実行委員会は同日、札幌駅前前で、「核兵器のない平和で公正な世界をーヒロシマデー」を繰り広げました。

札幌地区労連の木村俊二議長は、日本被団協のノーベル平和賞受賞は、被爆者はじめ「核兵器と人類は共存できない」と訴え続けてきた人びとの運動の成果だと強調。

一方で、核兵器を威嚇に使う危険な動きが国内外にあると、「引き続き草の根から核廃絶、反戦平和を求めていこう」と訴えました。

日本共産党の畠山、宮内両氏も参加。宮内氏は、連帯のスピーチを寄せ、「日本政府に核兵器禁止条約批准を求める署名」を呼びかけ、畠山氏は「唯一の戦争被爆国・日本の進むべき道は、核兵器廃絶のイニシアチブを発揮することです」と強調し、核廃絶を前に進めようと訴えました。

治安維持法100年で講演

荻野・藤田氏が新しい戦前許さず

今や新たな戦争前夜 歴史繰り返させぬ

マイナカード強制になる
健康保険証の廃止撤回を
日本共産党

道内の最低賃金1075円

道労連が談話 生活底上げにつながらない

北海道地方最低賃金審議会は8日、道内の2025年度最低賃金(時給)を現在の1010円から65円(6.4%)中央の目安は63円)引き上げ、1075円とすることを答申しました。

過去最高の引き上げ額で、全ての都道府県で1000円を超え、最賃の引き上げを求める運動と世論の広がりが後押しした結果です。しかし労働者が求めてきた要求額や、政府目標の「20年代に1500円を実現する」のに必要な年7.3%の引き上げにも及ばない低水準で、不満の声があがっています。

道労連が算定している最低賃金は、昨年改定し、時間給換算(月173.8時間)では単純平均1491円、一般の労働者の所定内労働時間(平均149.3時間)で時給換算単純平均では1736円となるとしています。北海道で働き暮らしていくためには、少なくとも時給1500円以上が必要であることを審議会にも訴え、最賃の大幅引き上げを求めて来ていました。

道労連は同日、最賃答申についての談話を発表し、「答申では、最賃近傍で働く労働者の生活はもとより、労働者全体の実質の賃金底上げにつながらない。賃金を抑制し、低賃金の非正規雇用を増やし、企業の活力を失ってきた『失われた30年』の流れから脱出し、大都会と地方の格差を是正する具体的なメッセー



最低賃金引き上げ求める共同アクション(1日東京)

風力発電で起きる問題

9月6日脱原発の会

佐々木氏が講演

「脱原発・自然エネルギーをすすめる苦小牧の会」は来月に「総会と講演会」を開きます。

新しい電力として風力発電が注目されていますが、騒音や超低周波、バードストライクなどが問題となっており、さらに健康や自然環境にも大きく影響を与える可能性が指摘されています。「風力発電が稼働している地域で起きていること」と題し、風力発電による環境破壊の調査を続けている、北海道風力発電ネット

トワーク代表の佐々木邦夫さんに問題を講演してもらいます。特別報告として、厚真町への風力発電設置の問題で活動している家倉博さんが話します。

講演会後に2025年度総会を開きます。

★ 9月6日(土) 13時30分
苦小牧市民会館205号室

▼資料代 300円
▼連絡先 津田事務局長

TEL 080-64660-0713

インボイス制度廃止を 日本共産党

ほんの紹介

◆Q&Aいま『資本論』が面白い 志位和夫著(新日本出版社)1210円(税込)

マルクスとともに現代と未来を科学する。若者とのQ&Aで、資本論第一部のあらましを、現代の熱い問題を縦横にまじえて新鮮に語ります。

この1冊でマルクス畢生の大著『資本論』の真髓が良くわかる! 今度の表紙は赤です!



人間とAI 友寄英隆著

◆人間とAI 友寄英隆著(新日本出版社)2420円(税込)

AIとは何か、その現在と資本主義、そして未来社会。生成AIは私たちの生活・社会をどう変える? AIは人の心の働きに近づく? そんな気になる話題について、AIのしくみと限界、労働・経済・メディア・政治・教育などへの影響、ルールの必要性など、科学的社会主義の立場で掘り下げます。AIで社会はどう変わるか。



平和な日本と世界 実現に力を合わせよう

参議院選挙で、ご支援をいただいたみなさんに感謝申し上げます。全道どこでもあたたかい言葉をかけてもらい、最後まで元気にたたかうことができました。

北海道選挙区は残念ながら議席には届かず、比例代表で島山和也さんを国会に送ることができず、悔しく残念です。選挙の取り組みから教訓を引き出し、次のたたかひに向けて質量ともに大きな日本共産党をつくるために私どもがんばります。

参議院でも自公の議席が過半数を割ったことは、自公政治を終わりにしたい、消費税減税など物価高の暮らしを良くしたいという民意の現れです。公約実現のために引き続き力を合わせます。

戦後・被爆80年の今年は8月7日にオンラインで「被爆80年長崎のつどい」に参加しました。被団協の田中照巳(てるみ)さんをはじめめとした被爆者が被爆の実相、反核平和運動の歴史などをお話ししてくれました。谷口綾暉(すみてる)さん、渡辺千恵子さんなど亡くなった被爆者のスピーチ映像を見られたことも貴重でした。

9日には、5年ぶりに矢白別平和盆踊りに参加し、島山和也さんとごあいさつをさせていただきます。

日米共同軍事演習や米海兵隊移動訓練が毎年行われる矢白別で、日本と世界の平和・核兵器廃絶の願い、開催される平和盆踊り、粘り強い基地監視活動に取り組みみなさんに連帯します。アメリカ力言いなりの政治をおおもとから変えて、軍拡ではなく外交努力する日本に、1日でも早く日本が核兵器禁止条約を批准するために力を合わせる決意です。

宮内史織(みやうち・しおり) 日本共産党北海道委員会平和運動部長



矢白別の平和盆踊りであいさつ(9日)

●原水爆禁止世界大会への代表派遣カンパにご協力をお願いします。